学校運営協議会議事録

日 時	令和5年(2023年)2月14日(火) 10時00分~12時00分	
会 場	北海道新篠津高等養護学校 会議室	
出席者	学校運営協議会委員 10名	学校側 8名
出席者名	原 田 志 郎 窪 田 秀 幸 今 田 義 春 工 藤 孝 史 磯 貝 隆 之 佐 藤 千 佳 長 屋 光 一 佐 藤 喜 子 松 本 比呂美 久 富 正 規 (敬称略)	川 口 毅 (副校長) 難 波 繁 (教 頭) 法華津 英 昭 (事務長) 佐 藤 輝 明 (主幹教諭) 須 藤 栄 子 (総務部長) 庵 谷 愛 子 (教務主任) 松 本 研 司 (寮務主任) 藤 原 由里子 (進路指導部)
議 事	内 容	
1 学校評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価について：事務局（副校長）から説明 ・ 生徒指導に関して、どの職員に対しても障がい特性は知っていて当然とは捉えず、障がいがある生徒に向き合う専門性があるかを確認してほしい。 ・ 専門性・学力は大切だが、道徳など人間として大切なことも学んでほしい。 	
2 3学年生徒の進路について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年生徒の進路について：事務局（進路指導部担当）から説明 ・ A型、B型について （事務局）就労継続支援A型は、4時間から6時間、最低賃金を保障され雇用契約を結んで働く。B型は、雇用契約は結ばず、仕事をする機会としてサービスの提供を受ける（報酬は工賃という形で受け取る）。 ・ 卒業後、福祉的就労から一般就労に結びついたケースは （事務局）卒業後3年間で一般就労に結びついたのは、就労移行からが43%、A型からが10%、B型からが5%であった。どこに進むということもあるが、本人の「就労したい」という意欲が大きいと考える。 	
3 令和5年度学校経営方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度学校経営方針について：校長から説明 ・ 現在は、どの業界でも人材不足である。村内の小売りでもその傾向があるため、進路につながる話があれば学校に呼びかける。 ・ 道教委からの『特別支援教育に関する基本方針』は令和5年の学校経営方針に反映されるべき （校長）来月示される予定の道教委からの『特別支援教育に関する基本方針』について、この学校経営方針との整合性を確認する。 ・ コロナ禍で対策を取りながら少しずつ行事を行い始めたことを評価している。 ・ 生徒に気になる言動が見られるときは、寂しいときと推測される。教師が声を掛けたり、仲間同士でがんばろうと思える仕組みをつくったりしてほしい。 	
4 委員からの意見、感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校力」とは （校長）10年位前からよく使われる。学習だけでなく、人と人とのやりとり等も含めた学校・寄宿舎での全ての営みを「学校力」と捉えている。 ・ 授業改善について、ICTが進むことで、より個別最適化された授業を進めてほしい。 ・ 防災教育に関する文科省からの中間報告では、本村は低いレベルであった。経営方針に載せなくても、保護者に対して取り組んでいる具体的な防災教育の内容を説明してほしい。 	
5 令和5年度学校運営協議会活動計画案について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度学校運営協議会活動計画案について：事務局（副校長）から説明 	
上記のとおり会議を開催した。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和5年2月14日 北海道新篠津高等養護学校長 久 富 正 規 </div>		